

エスティの 国際交流コーナー



(ハロウィーン)

皆さんこんにちは!

このコラムを書いている10月末に世界のある地域ではハロウィーンという祭りが行われています。イスラエル人はそれをお祝いしませんので、私が初めてハロウィーンに出会ったのは日本へ来てからでした。もちろん、ハロウィーンは日本の祭りでもありません。しかし、秋になったら店の窓などに顔の形をしたかぼちゃが飾られます。そして、黒色とオレンジ色の飾り、ハロウィーンのお菓子やマスクと仮装を売っている店が現れます。日本の学校でALTをしているアメリカ人の知り合いたちは子供たちにハロウィーンの行事を紹介したり、仮装パーティーを行ったりするという話も聞きました。しかし、皆さんこの行事の起源をご存じでしょうか。私は全く知りませんでしたので、ちょっと調べてみました。



ハロウィーンは、アイルランドやスコットランドのケルト人の古代の行事から生まれたそうです。その行事は日本のお盆と同様に、祖先の霊魂が帰ってくる日です。しかし、祖先の霊魂を迎えるとともに悪霊を追い払わなければなりません。そのため人々はお化けや魔女の仮装を身にまといました。それ以来ハロウィーンの日には怖い仮装を着る人が多いです。しかし現在は、怖くない可愛い仮装も増えました。

カボチャを削り提灯を作る習慣は特に北米で人気だそうです。その地方のカボチャが大きくて、削りやすいからです。普通はカボチャに怖い顔を作って、中にろうそくを付けます。その怖いカボチャが「ジャックオーランタン」、「ジャックの提灯」と呼ばれます。

他の有名なハロウィーンの習慣は「trick or treat」という子供たちの活動です。仮装した子供たちは隣の家のドアをたたき回り、近所の人から



お菓子をもらいます。「trick or treat」の意味は「お菓子がいたずら」、つまりお菓子を出してくれない人には子供たちがいたずらすると脅します。その脅しは、普通は冗談ですが、その家や庭をトイレトペーパーで覆う場合もあるそうです!

八百津町で3月に行われるイスラエルの祭りプーリムも、ハロウィーンと同じく子供たちにとって仮装する楽しい機会です。お化けや魔女だけでなく、どんな仮装でもいいですので、今年度も皆さんのご参加を待っています。

そして、去年も開催した「ハヌカの料理教室」を今年も行います。興味のある方は是非参加してください。

ハヌカの料理教室

- と き 12月13日(日) 13:00~
- ところ ファミリーセンター
- 参加費 200円
- 内 容 ドーナツやホットケーキのような美味しいお菓子などを作ります。
- 問い合わせ
地域産業課 43-2111